

都内の印刷会社に勤務する金子徹さん(仮名)はある日の昼休み、会社のトイレの貼り紙に気がついた。

そこには『男子各位、小の時も座ってやって下さい。大迷惑です。女子一同』という文言が赤ペンでデカデカと書かれていた。

\*

この会社にあるのは、一般的な家庭にあるサイズの洋式トイレが一台のみ。男女兼用となっており、トイレ掃除は女性社員の役目になっていったという。

張り紙を見つけた金子さん

はすぐさま社員を集め、

「トイレ会議」を開催した。

すると、女性社員たちの口

撃が止まらない。

「便器の下に尿たまりを作

ってるのは誰？」

「立ったままするから外に

こぼすんでしょ。掃除す

る人のことも少しは考えな

さいよ！」

もはや、上司も部下も関

係ないほどの怒りよう。金

子さんたちは引き下がるし

がなく、この日以来、社内

では男性社員の「座りシヨ

ンペン」が徹底されるよう

になった。

家で妻の指導を受け、座

りシヨンペン派に「転向」

した人の話は時々聞くが、

その流れは、職場にまで及

んでいる。

昨年、このように男性で

も座って小便をする人が激

増しているのだ。

昨年、大手トイレメーカ

ーのTOTOが20〜60代の

男性500人を対象に自宅

のトイレに関する調査を行

なった結果、33・4%もの

男性が、洋式トイレに立っ

たままではなく、便座に座っ

てからオシッコをしている

ことが判明した。04年の調

査から年々増加傾向にある

そうで、世の男性のうち3

人に1人が「座りシヨンペ

ン」している計算になる。

動機として最も多かった

のが、「家族に迷惑をかけ

ないため」。立ったまま小

便をするとはみ出してしま

ったり、便器や水面に跳ね

返った小便が散ったりする

が、世の女性たちは一様に

この「尿ハネ(飛び散った

尿)」に強烈な嫌悪感を抱

いているようだ。

家庭用品メーカーのライ

オンの調査では、立ってオ

シッコをした場合、一日で

トイレの床全体になんと約

2300滴もの尿が飛散し

たという報告もある。ほと

んどは直径2ミ以下の細か

い霧状のため、肉眼では見

えず気づかないが、どうや

ら、男性諸氏が思うよりも

飛び散っている模様。

そして、この尿ハネこそ

がトイレの悪臭の原因にな

っているのだ。

「トイレの床や壁に多く存

在する『スタフィロコッカ

ス』(黄色ブドウ球菌)が臭

いの原因菌といわれています。

尿を分解し、強いアン

モニア臭を発生させるので

す。尿ハネが乾燥すると出

る不快臭は、硫黄元素を含

む硫黄含有化合物の臭いで

あり、熟成しすぎたチーズ

の臭いに似ています」(ライ

オン広報センター)

先述したTOTOの調べ

によると、座りシヨンペン

をする男性の半数以上が

「尿が飛び散らないから」と

尿ハネ対策を意識している

# 男の身

# 大論争

# 立ち座るべきか？

なんと30%の男が「座りシヨンベン」派に転向していた。あなたはどっちだ？



のだとか。

## 「むいて排尿」 する習慣を

こうした、気遣い、は世の男性にかなり浸透しているようで、今や芸能界でも座りシヨンベン派が増えている。ピン芸人のはなわもその一人。

「最近、オシッコのコントロールが悪くなって、ホースが急に噴射したように四方八方に飛び散ってしまうことがあるんです。トイレを汚すとカミさんにえらい

怒られるから、座ってしますよ。後輩芸人のオードリーの春日俊彰も座りシヨンベン派です」

やはり、座りシヨンベン派を自認するタレントの桑野信義もいう。「小学校6年生の息子は立ってやっていますけど、僕は座っています。温かい便座に尿をこぼすとすぐに乾いて臭くなるのが嫌でね。

「最近、オシッコのコントロールが悪くなって、ホースが急に噴射したように四方八方に飛び散ってしまうことがあるんです。トイレを汚すとカミさんにえらい

## 新世相リサーチ

シヨンベン派の意見も聞いてみよう。タレントの松村邦洋は男の威厳を挙げる。「以前は太っていたので座ってする派でしたが、瘦せたおかげで立ってできるようになりました。男としてのプライドを感じますね。

でも汚してしまうから、自宅以外では座っていますようにしています」

また、漫画家の蛭子能収は、意外にも（失礼！）立ちシヨンベン派だとか。

「座るのは面倒くさい。立ってやるならチャックを下ろすだけで済むじゃない。女房は『座ってやれ』っていうけどね。それに、座って力む

と大きいのも出そうになっちゃうから嫌なんですよ」

双方に意見があるようだが、家族から余計な聲援は買いたくないもの。問題の本質は尿が飛び散ってしまうことにあるのだから、対応策を聞かない手はない。泌尿器科医師の岩室紳也氏の解説。

「日本人男性の約6割が仮性包茎であるにもかかわらず、『むいて排尿』という習慣が伝承されていないから汚してしまうんです。包皮が尿道口にかぶることで、あらぬところに排尿してしまうことがある。だから、まず包皮をしっかりとむくことです。

次に跳ね返りを抑えるために、極力便器に溜まっている水に直角に当てないよ

うにする。この角度を小さくすることで跳ね返りは抑えられます」

岩室氏は、安直な。座りシヨンベン。文化の浸透に危惧を抱いてこう続けた。「立ちシヨンは精神医学的にいうと男らしさを表わす行為です。汚してしまう可能性は確かにありますが、解決策も考えずに座ってしまうのは男のプライドを捨てたも同じ。世の男性が弱くなっていることを表わす現象に思えてくる」

たかがシヨンベン、されどシヨンベン。さて、あなたはどっち派？

■尿飛び散り防止商品  
どうしても立ってしたい男性のために開発されたのが、「マナーボード・天使のひざ枕」。便器の手前に置く小さな台で、そこに両ひざを置くひざ立ちスタイルの補助グッズ。価格は4800円。妻の機嫌を思えば安い買い物か。

